

授業科目 法学Ⅱ

【担当教員名】 梶原洋生	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

本講義では、まず法の基礎概念を習得する。ここから法体系と法の実相について知る。福祉（ケア）との関係に配慮しつつ、法の世界の特徴を追体験し、特に市民社会における法の作用と機能とを習得する。これらを通じて法の思考を自ら深めるとともに、実体的な考察の窓口を作る。共感の人権論を模索し専門化が実践するリーガル・アプローチの可能性を身につける。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 法システムを説明できる。
2. 民法の各論を説明できる。
3. 行政法を説明できる。
4. ケース・スタディを討議する。
5. 法的な思考から理論構成を行なう。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	「法学Ⅱ」への取組み（受講上の留意点）		講義
2	社会生活の営みと法		講義
3	法の体系について		講義
4	福祉と法の出会		講義
5	民法各論の実際		講義
6	行政法の総論		講義
7	行政法の各論		講義
8	行政サービスと福祉マネジメント		講義
9	臨床と法的救済（1）		講義
10	臨床と法的救済（2）		講義
11	臨床と法的救済（3）		講義
12	パラリーガルとしての福祉職		講義
13	福祉職の義務、責務、ディレンマ		講義
14	まとめ		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	『社会福祉士養成講座12・法学』、福祉士養成講座編集委員会、中央法規、最新刊 『社会福祉小六法』、ミネルヴァ書房、最新版			
参考書	適宜			
その他の資料	適宜			

【評価方法】 出席点、平常点、試験点による	【履修上の留意点】
--------------------------	-----------